

情報連絡員だより

ー平成 27 年 2 月分の報告よりー

景況感は弱含みで推移

業 種 / 景 況 天 気 図			概 況
全 体			大雪の影響を受けた昨年比では売上増だが、例年並みに止まる。一方、 昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動減で大きな売上の落ち込みが散見。 また、今後も原材料の値上げが見込まれ一段と厳しさを増す気配。
製造業 	食 料 品		パン・菓子・製麺は原材料価格の上昇に加え、4 月からの小麦価格の値 上げを控え一層厳しさが増す状況。酒造は消費増税前の駆け込み需要の 反動減で売上は大きく落ち込む。
	繊維・同製品		婦人服地は端境期となり低調に推移。輸出向けは 2016 年の春夏用のサン プリングづくりに尽力。和装織物は求評会の出足が良く今後に期待感。 一方、伊勢崎織物は県内外の販売会は低調。繊維製品は、婦人服の売れ 行きが悪く乱売状態。
	窯業・土石製品		生コンは平年並みの出荷量。コンクリートブロックは、住宅建設需要と 消費意欲の落ち込みで横ばい状況が続く見通し。コンクリート製品も好 転せず前年並みに推移。碎石は、販売価格は上昇傾向だが、売上高には 地域差が見られる。
	機 械 ・ 金 属		全体的に好調ムード感はあるが、依然、原材料高や熟練工不足が改善さ れず、コストダウン要請も大変厳しい状況で、一部では工場閉鎖も散見。 パナソニック大泉工場の生産増強を控え地域の関連企業は期待を寄せる。 プラスチック金型は、2 月に入り受注が減少し昨年並みの水準に止まる。
	その他の製造業		製材は、製品単価下落の上、荷動きも非常に悪い。印刷は、年度末の官 公需受注が低迷する中、民間受注の競争も激化。ゴム製品は、一般的に 景況は良い傾向も、一部で大きく落ち込む等まだら模様の状況。紙加工 品は、県外業者との競争激化で軒並み販売量減少、販売価格も下落傾向。
非製造業 	卸 売 業		住宅向け建築関係の売上・収益悪化、一方、機械器具関連は増加。農産 物卸は、野菜・果実は前年並みに推移。水産物卸は、昨年大雪の影響 による落ち込みと比較すると例年並みの売上を確保。
	小 売 業		家電小売は、駆け込み需要の反動減で売上・収益ともに悪化。中古車オー クションは繁忙期で出品・成約・単価とも上昇。ガソリン小売は、前年比 17～18 円/ℓ の値下がりの中、給油所の減少傾向は止まらず。商店街は、 人通りが少なく売上低迷が続く中、高崎市では空き店舗への入店の動きが みられる。生花店は、消費増税の影響もあり例年以上の落ち込み。
	サ ー ビ ス 業		温泉旅館は、春節を温泉地で過ごす中国人旅行客で入込増。不動産取引は、 消費税 1 0 % が先送りになった影響で低迷し、不人気地域では価格下落が 加速。建物設計は、官公需発注金額決定における技術者単価が改正され、 今後の設計料の改善を期待。
	建 設 業		建築工事は全体的な工事量は前年並みだが、受注確保に企業間格差が見ら れる。電気工事は、受注状況は前月に引き続き良好だが、人手不足が続く。 塗装工事は、工事が重なり職人確保に悪戦苦闘。鉄構業は、中だるみ状態 で稼働率の低下が続く。
	運 輸 業		全体的に荷動きは低調だが、繁忙時には運転手不足が見受けられる。ま た、軽油の値下がり状況が続き、若干の収益好転と資金繰りの改善が見 られる。小口輸送は、お雛様の配送は昨年並みだが、自動車部品関連・ 食料品関連の動きが悪化し、全体的には売上高・取引件数が大幅に減少。